

県産材カラマツを利用した児童生徒用机・椅子研究開発事業

取り組みに至る背景・事業の目的

木曽川源流である木祖村では、カラマツが多く存在しているが、木の性質上、加工・利用が困難なため、現在はあまり活用されていない。そこで、間伐材を有効利用し、保育園・小中学校用の机・椅子を地元木工業者らと研究開発することにより、子どもたちの森林や地元木工業への関心を高めるとともに、低迷する木工産業の活性化を図る。

事業内容

- 地元木工業者等により、県産材カラマツを使用した机と椅子の研究開発から製作まで行った。
 - ・小学校机・椅子 100セット
 - ・机マット 90枚
 - ・保育園児用椅子 90脚
- 授業参観日などに保護者に対し机と椅子の製作利用について説明しPTA等からの意見も取り入れる等、村、木工業者、地域住民が一体となって研究開発に取り組んだ。



事業効果

- 子どもたちが木の温もりを直接感じながら、より一層勉学に励んだり、遊んだりすることができ、森林や木工業について関心を持つ機会となった。子どもたちや保護者からも、「使いやすい」「子どもたちにとっても良い環境で学ばせてあげられることができ、木曽らしくとても良い」といった声を聞くことができた。
- 子どもたちが木の大切さを理解することによって、今の時代に失われつつある、自然や環境を守っていこうとする人間らしさが生まれてくると思われる。
- 机と椅子の開発が成功したことにより、木工産業の活性化や雇用拡大につながりつつある。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

地元小中学校全校への設置はもちろんのこと、将来的には下流域の学校でも導入してもらい、低迷する木工産業の活性化を図りたい。そのためにも、生産性の向上など、木工業者と協力して更なる研究を続けていく。

【選定のポイント】

地域産のカラマツの机・椅子を利用してもらうことにより、森林資源や木工業への意識醸成が図られた。また、下流域への紹介など今後の展開が期待できる。

団体名	木祖村（木祖村）	事業タイプ	ハード事業
連絡先	木祖村役場	事業費	4,609,000円
電話	0264-36-2001	支援金額	3,073,000円